

「わたしの図書館のここに注目！！」

～大隅支部・志布志市～

志布志市立図書館では、これまで「バリアフリー」コーナーとして集めていた本を「りんごの棚」とし、コーナー書架もより見やすく、手にとりやすく作り直しました。

「りんごの棚」とは、さまざまな理由により、本を読むことが難しい人へむけた「誰でもかんたんに読むことができる本」を集めた本棚のことです。印刷物を読めない障害がある人々のための図書館サービスであり、「りんごの棚」という名称は、ロンドンの「障害児図書館」で、言語障害がある子どもたちを支援するために作られたおもちゃのりんごに由来しています。

「りんごの棚」には、読みやすい大きな文字で書かれた本、点字のついた本、LLブック、布やスポンジでできた本、さわって楽しむ絵本、手話絵本などがあります。



「りんごの棚1」



「りんごの棚2」



「ねこべや1」

また、「2」が6個もそろそろ 2022年2月22日は、にゃんにゃんにゃんと「スーパーニャンニャンデー」なので、「ねこべや」を製作しました。なお、「2」が7個そろそろ完ぺきな 2222年2月22日（ウルTRASーパーニャンニャンデー）は200年後…となります。つまり私たちが祝えるスーパーニャンニャンデーは今回だけです。



「ねこべや2」

ネコが登場する絵本や児童書、小説、ネコの写真集や、ネコをよく知るための本などを集めています！「ねこじまん」コーナーもありますので、愛するネコちゃんのイラストなどを自由に描いていきたいと思ひます。